

# 岐阜県 中小企業情報

2010 1

VOL.603

発行：2010年1月25日



社会長新春インタビュー

## 目次

社会長の新春インタビュー……………2  
組合等の動き……………3  
中央会の動き……………4～5  
飛騨支所だより／中央会レディース通信……………6  
会員組合紹介／労働基準法改正について……………7  
12月の景況調査……………8～9  
先進組合事例……………10  
専門家'eye……………11  
事務局だより……………12  
年賀広告……………13～18

[発行所]

### 岐阜県中小企業団体中央会

岐阜市数田南5丁目14番53号 岐阜県民ふれあい会館 8階  
TEL 058-277-1100(代) FAX 058-273-3930  
URL <http://www.chuokai-gifu.or.jp>

平成22年、明けましておめでとうございます。会員の皆様方におかれましては、健やかに新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

さて、昨年は政権交代という大きな変化がありましたが、我が国経済は一昨年の秋以降から世界中に波及した金融危機により未曾有の不況に直面し、また、後半には急激な円高が見られるなど、先行きの不透明感を払拭できないまま越年となりました。

こうした中で、中小企業組合が果すべき役割は今まで以上に大きくなり、その期待も高まっています。中小企業においては個々では解決し難い課題も多く、中小企業組合をはじめとする連携組織を活用して経営資源を相互補完・補強し、経営基盤の強化や新事業展開に取り組む必要があります。

今年も中央会は、皆様方の期待に応えるため、中小企業団体の支援機関、組織化のプロ集団としての自覚を持ち、組合の皆様と共に手を取り合って皆様方の活動やチャレンジを応援していく所存です。ご支援方よろしくお願い申し上げます。

## 「組合のニーズに応えるパートナー・中央会～一步踏み込んだ戦略支援へ～」

### 組合の声を事業・施策に活かす

### 辻正中央会会長に聞く

#### ■昨年を振り返って

平成21年は政界においては政権交代があり、経済では一昨年来の経済危機の影響が続き、激動の1年となった。年頭に今年こそは行政や政治が何か対策を講じてくれるのではないかと期待していたが、期待はずれに終わった。中小企業にとっては「自分の城は自分で守る」という意識が強くなり、企業防衛に全力で取り組む必要があると実感した1年だったと思う。

中央会では、ものづくり中小企業製品開発支援事業の申請窓口業務を行った。岐阜県はモノづくりが盛んな県であり、全国的に見ても申請件数は多く、一次募集は246件を受け付け60件が採択された。また、二次募集では20件が採択され、総額で約18億～19億円の支援が受けられることになる。他にも農工商連携に取り組む人的基盤を形成すべく研修会を開催するなど、様々な角度から支援を行った。

中央会の会長として平成18年から続けてきた組合訪問が100組合となり、目標を達成することができた。これも忙しい中で時間を作ってくれた理事長さんや事務局の方々のお蔭だと感謝している。組合を訪問して感じたことは、どの組合も色々な知恵を出し合って頑張っておられるということ。組合にはまだまだ宝の山（ノウハウ）が埋もれていることがわかり、私自身も大変勉強になった。今後も皆さんからの要望があれば生の声を聞くため、訪問を続けていきたいと思っている。

#### ■今年の見通し

今年も昨年同様に厳しい経済状況が続くと考えている。国では雇用調整助成金制度をはじめ、こども手当等の助成金を検討しているが、かえって企業や家庭を弱体化させるものではないかと危惧している。国や県の財政は厳

しいため、中小企業は補助金などに頼るのではなく、自分の企業は自分で守るという意識をさらに持つ必要がある。それには「活路開拓」が重要となる。アジアを中心とした海外マーケットに目を向け、自慢の製品を積極的に売り込んでいくことが必要だ。海外進出は大手だけという考え方は捨て、海外に目を向けて欲しい。

厳しい中ではあるが辛抱し、苦労の中から知恵を絞っていかなければならない。社会に必要とされた意欲ある企業だけが生き残れる「適者生存」がさらに進むだろう。

#### ■中央会の活動と方針

中小企業の海外展開への足掛かりを中央会でも支援していくつもりだ。そのために、海外ビジネスのお手伝いをする「国際チーム」を立ち上げたいと思っている。今年には岐阜県でAPEC中小企業大臣会合が開催されるため、中小企業にとっていいチャンスである。まずは日本貿易振興機構（JETRO）岐阜貿易情報センターと協力して勉強会などを実施していきたい。

また、専門的・戦略的支援を実施するため、重点的計画巡回指導を昨年秋から開始した。これは特定の事業に取り組む組合を重点的に訪問支援するもので、事業内容に応じてブラッシュアップのために専門家を派遣していく。

中央会は「組合のニーズに応えるパートナー・中央会～一步踏み込んだ戦略支援へ～」をスローガンに一年間頑張っていく。多くの業種が集結している中央会の強みを活かして会員相互の交流機会の拡大を推進するとともに、新連携や農工商連携などの制度活用については後押ししていく。また、メルマガやホームページの充実を図り、会員に向けて、より新鮮で活用できる情報を提供していきたい。今年も積極的に中央会を活用して欲しい。

# 組 合 等 の 動 き

## 岐阜県陶磁器工業協同組合連合会 (加藤半一郎理事長)

### 東濃各地で 新春見本市を開催

岐阜県陶磁器工業（協連）に所属する14組合は、新春恒例の「2010年新春見本市」を開催した。1月6日の土岐津、泉、肥田の3組合を皮切りに9日の美濃焼伝統工芸品（協）まで、各組合はそれぞれ2日間の日程で実施した。

この見本市は、各事業所が研究開発した新商品やオリジナル商品を発表するもので、地元卸商社等に積極的な売り込みやPRを行うことで成約増や新規顧客獲得につなげたいとしている。また、その年の業界の景況を占う催しとしても注目されており、会場は大勢の人で賑わっていた。

陶業界では大変厳しい状況の中で、「低温焼結陶磁器」や「マイクロ波ガス複合炉」などの新技術の研究が進められており、焼成燃料の省力化やCO<sub>2</sub>削減などが期待されている。



## 西濃電気工事協同組合 (高橋勤理事長)

### 西濃6町に 火災警報器を寄贈

西濃電気工事協同組合は、西濃6町に煙感知式の火災警報器200個を寄贈した。

火災警報器等の設置について県内では平成23年6月1日から義務化されることとなっており、組合でも啓発活動を行っている。火災警報器の寄贈は今回が初めてで、高橋理事長は「地元への貢献ができればとの思いから、災害支援協定を結ぶ市町のうち希望があった6町に寄贈した。地域の安全のために活用してもらえれば。」と感想を語った。

火災警報器の設置に関するお問い合わせは、組合事務局（0584-73-8343）まで。



## 岐阜柳ヶ瀬商店街振興組合連合会 (辻英二理事長)・日ノ出町商店街振興組合 (代田保寿理事長)

### 幻まつりを初開催

岐阜柳ヶ瀬（商振連）と日ノ出町（商振）は、古き良き昭和の情緒を再現するイベント「柳ヶ瀬日ノ出町幻まつり」を12月19、20日に開催した。

幻まつりは、にぎわい創出を目的に両組合が連携して企画したもので、どてや豚汁などが味わえる屋台横丁や立ち飲みバーなどが旧長崎屋前に再現された。また、日ノ出町商店街では、街づくりコンセプト“柳ヶ瀬日ノ出町商店街宣言”を発表したほか、組合員店舗で「超特盛り焼きそば」や「やかんコーヒー」などのメニューを販売した。会場には柳ヶ瀬のゆるキャラ「やなな」も登場し、昔を懐かしむ中高年世代から若者まで、大勢の人で賑わった。



## 協同組合スカイドーム・神岡 (老田哲康理事長)

### 物産交流フェアを開催

飛騨市神岡町の道の駅「スカイドーム神岡」で、同町と富山県氷見市との物産交流フェアが、11月29日に開催された。

このフェアは、同施設のオープン10周年を記念して実施されたもので、魚のすり身などを入れた「氷見ととぼちカレー」と地元産のほうれん草を使った「奥飛騨ほうれん草カレー」の食べ比べ対決や、山の村牧場のアイスクリーム詰め放題コーナーなど、様々なイベントが行われた。

同施設では、ニュートリノ研究「スーパーカミオカンデ」がリアル体験できるほか、飛騨路の特産品が販売されている。



# 中央会の動き

## 情報連絡員会議を開催

中央会は、12月15日にホテルグランヴェール岐山で「情報連絡員会議」を開催した。

大野耕平専務理事の挨拶に続き、岐阜財務事務所の森尚生財務課長が「財務統計から観る県内経済」、県中小企業課の加藤謙治郎課長が「中小企業支援施策」、商工中金岐阜支店の梅澤悟次長が「金融窓口から見た現在の景況動向」について、それぞれから情報提供があった。また、事務局より全国大会で決議された要望事項並びに県建設関連業団体部会より県に対し行った要望事項について説明した後、製造業と非製造業に分かれて情報交換会に入った。

情報連絡員の方々からの発言要旨は次のとおり。

## ○Aグループ（製造業）

### 【県米菓工業(協)】 小森事務局長

昔から米菓は不況に強く、可も不可もない状態である。寒さに強いもち米の苗が出来ないか県農政にお願いし、情報をもらっている状況である。

### 【県ニット(工組)】 大植事務局長

昨年10月以降、大型小売店の販売額の低迷などにより衣料が落ち込み、業界はもろに影響を受けている。ユニクロやしまむらなど海外生産を行っている所は良いが、国内生産は悲惨な思いをしている。

### 【丸重製紙(企)】 太田理事

当組合の紙は特殊紙の分野であるが、雇用の確保、生産、販売すべてにおいて悪化している。

### 【県プラスチック(工組)】 大塚事務局長

業界全体の状況は把握できないが、組合員の話をお聞かせすると、ぼちぼちと言う所はかなり良い状況で、悪いと言う所が5～6割程度となっている。

### 【県石灰工業(協)】 笠原主事

出荷量の推移は、平成20年は好調であったが、今年11月から急激に落ち込んでいる。鉄鋼関連での減少が一番の要因である。

### 【県生コンクリート(工組)】 尾関総務部長

政権交代後「コンクリートから人へ」の政策転換で悪影響が出ている。出荷量はピーク時から半減した。対策として22年度から第4次構造改善事業を実施し、全国にある工場の約3割を集約化する予定だが、多額な費用がかかるため非常に苦慮している。

### 【岐阜婦人子供服(工組)】 岩田専務理事

業界は今の景況ニーズに合った商売を展開しているユ

ニクロや西松屋等の大手小売業が急成長している。中国にターゲットを定め、上海万博への出展をはじめ、香港などでの展示会を予定している。

### 【県砕石(工組)】 高井事務局長

公共事業の減少で需要も減少している。組合で労働関係助成金の活用方法を研修するなどして、何とか頑張っている。

### 【県鋳物工業(協)】 浅野事務局長

非常に悪い状況で、工作機械が最も悪く回復の兆しが見えない。組合員の中には、週2日を勉強会にしている所もある。産廃問題が深刻化で、県内には埋め立て処理場がほとんどなく、県外へ運搬しているため処理費用が高くなっている。

### 【関連合刃物(協)】 武井専務理事

昨年11月まではロシアで包丁が好調だったが、今年2月頃から厳しくなった。また、円高の影響で採算が合わないため、問い合わせはあるが契約に至らないケースもあり、輸出は苦戦している。業界として全国の物産展に出展し、PR・販売を行っている。

### 【県メッキ(工組)】 石垣理事

組合員も2社減り、3勤4休の企業もある。明るい材料が見られず、本当に厳しい状況である。

### 【県可児工業団地(協)】 高橋事務局次長

昨年11月から厳しい状況が続いていたが、現在はエコカーや情報機器等で少し持ち直しの動きはある。しかし、最近の急激な円高が悪材料である。設備関連や工作機械は回復が遅れており、3勤4休の企業もある。

### 【川崎岐阜(協)】 市原専務理事

売上、受注ともに年々減少している。特に工作機械は厳しい。明るい話題としては、ボーイング787の1号機が初フライトした。現在は量産に向けて体制を整えている。しかし、仕事はあっても納期、コストが厳しく、先行きに不安を抱えている。

## ○Bグループ（非製造業）

### 【県飲食(生衛)】 牧野専務理事

昨年、中央会のWeb構築支援事業を活用して組合ホームページを作成した。平成23年6月に全国大会を高山市で開催するので、協力をお願いしたい。

### 【県眼鏡商業(協)】 堀江副理事長

眼鏡単価が下落する中で、近年のデフレで益々厳しくなった。チェーン展開を行う激安店との差別化を図るため、岐阜眼鏡士制度を続けており、組合員の店舗では、技術

を併せ持つ眼鏡屋として商売を行い、消費者に良い商品が提供できるよう心掛けている。

**【岐阜土木(協)】 宇野事務局長**

業界は公共工事に頼る部分が多い中で、年々予算が削減されており、資金繰りも厳しい状況である。土木事務所と意見交換会を行い、地域に貢献した企業を一定優遇するなどの制度構築を要望している。

**【県建築設計監理(協)】 加藤事務局長**

他県の大型設計事務所との競合が出てきている。県に対して地元設計事務所への優先発注を要望している。また、定期報告制度により市町村も3年に1回の報告義務が課されているが、その取り組みについてはばらつきが見られるため、各建築事務所から指導をお願いしたい。

**【県機械金属商業(協)】 服部理事長**

来年がどんな厳しい年になるか先が読めない。各企業発展のために、組合は結束し、尽力していく。

**【岐阜市商店街(振連)】 古川理事長**

商店街は様々な原因により悲惨な状況である。一定の年代以上をターゲットにした商店街づくりをしていかないと生き残れないと思っている。今年6月から新規事業を開始し、じわじわ浸透し始めているので、なんとか軌道に乗せたい。

**【県自動車車体整備(協)】 田中専務理事**

事故車の修復を生業としている業界。最近では景気の低

迷もあって少々の事故を起こしても修理しないケースが出てきている。また、事故件数も減少傾向にあり受注が減っている。組合員の高齢化が進み、廃業・脱退による減少が続いている。

**【岐阜長良川温泉旅館(協)】 橋本部長**

岐阜は下呂や高山と違ってビジネス目的の宿泊客も多く、トヨタショックは相当の痛手だった。耐震問題はお金でなんとかなるが、インフルエンザなどの感染問題は対応が難しく、安全・安心対策が旅館に求められている。ネット利用による申し込みが増えているので、充実していく必要がある。

**【県管設備工業(協)】 高木理事**

最近では土木関係も仕事が減り、我々の業界に参入してきている。耐震管の特殊技術を持っているにも関わらず、値段が安すぎて仕事をしても赤字という状況である。

**【物流ネットワーク中部(協)】 寺町専務理事**

経済情勢の悪化で運賃が下落している。また、運輸方法についても、安全・環境に対する規制が厳しくなっており、投資も必要となるため、なかなか進んでいない。

**【赤帽岐阜県軽自動車運送(協)】 矢野理事長**

デフレの影響を受け厳しい状況にある。1日に宅配できる荷物には限りがあり、配達料金が下がれば収入に影響してくる。3ヶ月前から情報誌の配達を請負ったが、配達先から仕事を頼まれるなど、良いPRになっている。

## 環境対策先進企業を視察

中央会は、3回シリーズで実施している「環境対策支援セミナー・第3弾」として12月3日に環境対策に取り組む先進企業を視察した。

視察したのは美濃加茂市の(株)東和製作所で、環境省の推進する環境経営システム「エコアクション21(EA21)」を展開するなど、全社一丸となって環境保全活動に取り組んでいる。当日は会員組合等から約25名が参加し、担当者からEA21認証に至った経緯や現在の活動などが説明され、続いて工場内を見学した。

担当者からは「EA21は費用も安く審査人が指導をしてくれる。国内での取引であればISO14001と同等扱い程度までできていると思う。」と話し、出席者は関心を寄せていた。



## 外国人研修生受入組合運営研修会を開催

中央会は、入管法が改正されることに伴い、12月22日に長良川国際会議場で研修生受入組合並びに受入企業を対象に「外国人研修生受入組合運営研修会」を行った。

研修テーマは「職業紹介事業の概要並びに許可・届出について」、「外国人技能実習生の適正な労務管理のために」、「定款変更について」の3テーマであり、岐阜労働局並びに事務局から説明を行った。

研修会は約200人が受講し、今後のスキームや対応すべき事項を確認するなど、熱心に聴講していた。



# 飛驒支所だより



## 「さるぼぼ」の立体商標の認可

高山の民芸品で有名な「さるぼぼ」が、平成20年10月30日に特許庁から立体商標に登録・認可されました。申請したのは「さるぼぼ」の製造を行う組合員4名で組織した『飛驒のさるぼぼ製造協同組合』（中澤澄夫理事長）。同組合では、平成19年に地域団体商標（通称：地域ブランド）として「飛驒のさるぼぼ」を申請して登録されるなど、活発な組合活動を展開しています。「さるぼぼ」という矛と立体商標及び地域ブランドという強固な盾を手に入れました。

今回、立体商標に登録したのは、顔が丸く、手足がとがっている伝統的な形状で、携帯電話のストラップやキーホルダーなどのほか、クッキーやパンなどの食べ物にも権利が適用されることになりました。中澤理事長は「さるぼぼが多くの人に愛され、有名になった証し。海外や県外で作られた安い類似品や粗悪製品の流通を防ぐことに期待したい。」と語り、さらに、「さるぼぼという矛と立体商標及び地域ブランドという強固な盾が手に入り、今後組合員及び賛助会員と一緒にさるぼぼの伝統を守り、さらなる発展を業界一丸となって目指したい。」と抱負を話されました。

なお、立体商標に登録・認可されている有名なものとしては、「コカコーラの瓶」、「ヤクルトの容器」、「ペコちゃん」などがあります。



### ○お知らせ

中央会・飛驒支所は12月から来所者用の駐車場1台分を事務所ビル奥に確保しましたのでご活用下さい。ただし、駐車場の雪かきが間に合わない場合もありますので、ご了解下さい。

## 中興会レディースクラブ通信

### 第2回女性経営者等支援セミナー及び交流会を開催

当レディースクラブでは、岐阜県中央会と共催して昨年12月8日にホテルグランヴェール岐山において、「女性経営者等支援セミナー」を開催し、約40人にご参加いただきました。

講師の「日本一明るい経済新聞」編集長（四條畷学園大学客員教授・大阪大学大学院非常勤講師）である竹原信夫氏からは、「元気な企業は“あいうえお経営”女性社長も活躍」をテーマに講演いただきました。

講演では、年間約500社の取材で見つけた中小企業経営者の成功事例や失敗事例が紹介されたほか、元気な社長の共通点（あ(明るい)・い(意思が強い)・う(運が良いと思ひ込む)・え(縁を大切に)する)・お(大きな夢を持つ)や、ちょっとした工夫で社員やお客様の元気が出る事例、褒めて元気を育てる方法など、経営者がすぐに実行できるノウハウについてアドバイスがありました。

講演後には当レディースクラブ主催の交流会を開催しました。交流会では、秋の叙勲で「旭日双光章（地方教育行政功労）」を受章された加藤智子会長を称え花束を贈呈し、引き続いて竹原氏を囲んでの懇談や会員相互の交流を行いました。



### 岐阜県中小企業団体中央会レディースクラブ 会員募集中！

当レディースクラブについての詳細や入会等についてのお問い合わせは、中央会情報チーム（TEL 058-277-1102）までご連絡下さい。

頑張っている仲間達

## 中央会の会員組合を紹介します！



本会は、多種多様な業種・業態の組合等が会員となっており、これが本会の特徴でもあります。各組合がその特徴を活かし日々活動を続けていますので、皆様の仲間を紹介します。

### 下呂温泉旅館協同組合

■理事長: 滝 多賀男                      ■住所: 下呂市湯之島801番地2  
■組合員数: 45人                            ■TEL: 0576-25-2064      FAX: 0576-25-5483  
■設立年月日: 1963年9月6日           ■URL: <http://www.gero-spa.or.jp/>

#### ☆奥村事務局長に聞きました☆

下呂温泉は、昭和初期の高山本線開通とともに有名温泉地へと成長し、さらなる宿泊客を獲得しようと温泉旅館による組合が設立された。下呂温泉では、過去の集中豪雨による旅館流失や浸水など多くの災難に見舞われながら、全国に先駆けて温泉の集中管理並びにエネルギー供給事業としての公益ガス事業を行い、各種共同事業を積極的に展開している。近年では、名古屋から下呂温泉への直行バスを毎日運行させるなど様々な取り組みを行い、宿泊客確保のために日々奮闘している。

その取り組みの一つに「下呂温泉みすと」がある。下呂温泉は抜群な滑らかさを誇る「美肌の名湯」と言われており、女性客をターゲットに発案された化粧水だ。使い方は洗顔後、円を描くように顔にスプレーして馴染ませ、その後は通常のお手入れをするだけ。他にもメイク直しの時や乾燥から肌を守るための保湿液としても使える。インターネットを利用して全国からも購入申込があるなど、約3万本を販売し好評を得ている。

また、今年の冬は「冬の下呂温泉 花火物語」を下呂大橋下流飛騨川河畔で開催している。打ち上げる花火は毎週テーマが決まっており、日本特有の四季の行事や風習を花火で表現している。1月から3月まで毎週土曜開催しているので、この冬の寒さを温泉で温め、冬の空に咲く花火を鑑賞しに来て欲しい。



## 労働基準法の一部改正のお知らせ

長時間労働を抑制し、労働者の健康確保や、仕事と生活の調和を図ることを目的とする「労働基準法の一部を改正する法律」が、本年4月1日から施行されます。そこで、今月と来月の2回に亘り、改正のポイントを紹介します。

### ○時間外労働の割増賃金率が引き上げられます

(中小企業については、当分の間、適用が猶予されます)

1か月に60時間を超える時間外労働を行う場合…50%以上 (改正法第37条第1項、第138条)

- ・1か月60時間を超える時間外労働については、法定割増賃金率が、現行の25%から50%に引き上げられます。(注1)
- ・ただし、中小企業については、当分の間、法定割増賃金率の引上げは猶予されます。(注2)

(注1) 割増賃金率の引上げは、時間外労働が対象です。休日労働(35%)と深夜労働(25%)の割増賃金率は、変更ありません。

(注2) 中小企業の割増賃金率については、施行から3年経過後に改めて検討することとされています。

割増賃金の支払に代えた有給の休暇の仕組みが導入されます (改正法第37条第3項)

- ・事業場で労使協定を締結すれば、1か月に60時間を超える時間外労働を行った労働者に対して、改正法による引上げ分(25%から50%に引き上げた差の25%分)の割増賃金の支払に代えて、有給の休暇を付与することができます。(注1)
- ・労働者がこの有給の休暇を取得した場合でも、現行の25%の割増賃金の支払は必要です。(注2)

(注1) この有給の休暇は、長時間の時間外労働を行ったときから一定の近接した期間内に、半日単位などまとまった単位で付与することが考えられます。詳細は改正法の施行までに、労働政策審議会で議論の上、厚生労働省令で定められます。

(注2) 労働者が実際に有給の休暇を取得しなかった場合には、50%の割増賃金の支払が必要です。

# 景況レポート

平成21年  
12月末  
調査  
(前年同月比)

中小企業団体情報  
連絡員85名(うち  
84名分の集計)の  
情報連絡票から

## 〔I〕12月の特色

- ◆ 景況感DI値 ~マイナス70台続く~
- ◆ 売上高は改善するも、収益状況は変わらず

## 〔II〕12月の概況

当月の景気動向を前年同月比景況感DI値で見ると、好転2、悪化77でDI値はマイナス75となり、前月のマイナス78に対し、3ポイントの改善となっているが、景況感DI値は依然、低調横這い状態が続いている。

なお、景況感が好転したと回答した業種は機械・工具販売と広告美術のみで、景況感が悪化した業種は64業種となっている。

主要な調査項目を見ていくと、売上高DI値はマイナス58で前月比13ポイントの改善、販売価格DI値はマイナス46で前月比3ポイントの改善、収益状況DI値はマイナス70で前月比2ポイントの改善、資金繰りDI値はマイナス46で前月比10ポイントの改善となり、主要調査項目において全て改善となった。

業種別に見ると、製造業、非製造業の全ての調査項目においてDI値マイナス30以下の「悪化」となっている。

コメントからは、前月に引き続き、消費の低迷、販売不振、円高の影響等により、厳しい状況にあるとの報告が多い。その中でも、食料品、機械・金属、商店街、サービス業関係でデフレ傾向によって、販売単価が下降気味や先行き景況感が不透明であるなどの声が寄せられている。また、従業員の雇用面においても厳しい環境が続いているとの報告もある。

### <主な調査項目での動向>

**売上高の動向**は、前年同月比で増加9、減少67でDI値はマイナス58となり、前月のマイナス71に対し、13ポイントの改善となっている。

これは年末需要や季節的要因(寒波、降雪)などによる売上増加もあるが、大きな改善の要因は、悪化から不変への変化

によるものであり、今後の動向を見守る必要がある。

売上が増加した業種は、8業種となっており、食肉(国産)、東濃ひのき、家庭紙、医薬品卸、機械・工具販売、自動車タイヤ整備、広告美術、産直住宅(東白川地区)となっている。

売上が減少した業種は、56業種あり、特に繊維・同製品、窯業・土石、鉄鋼・金属、各種物産品、一般機械、商店街、建設業、運輸業に減少が多い。

**販売価格の動向**は、前年同月比で上昇1、低下47でDI値はマイナス46となり、前月のマイナス49に対し、3ポイントの改善となっている。

販売価格が上昇した業種は、牛乳・乳製品のみである。

販売価格が低下した業種は39業種あり、特に一般機械、小売業、商店街に低下が多い。

**収益状況の動向**は、前年同月比で好転3、悪化73でDI値はマイナス70となり、前月のマイナス72に対し、2ポイントの改善となっている。

売上高の動向と比較すると、売上高DI値は13ポイント改善しているのに対し、収益状況DI値は2ポイントの改善に止まっていることから、収益率は低いことが窺える。

収益状況が好転した業種は、プラスチック、自動車タイヤ整備、広告美術である。

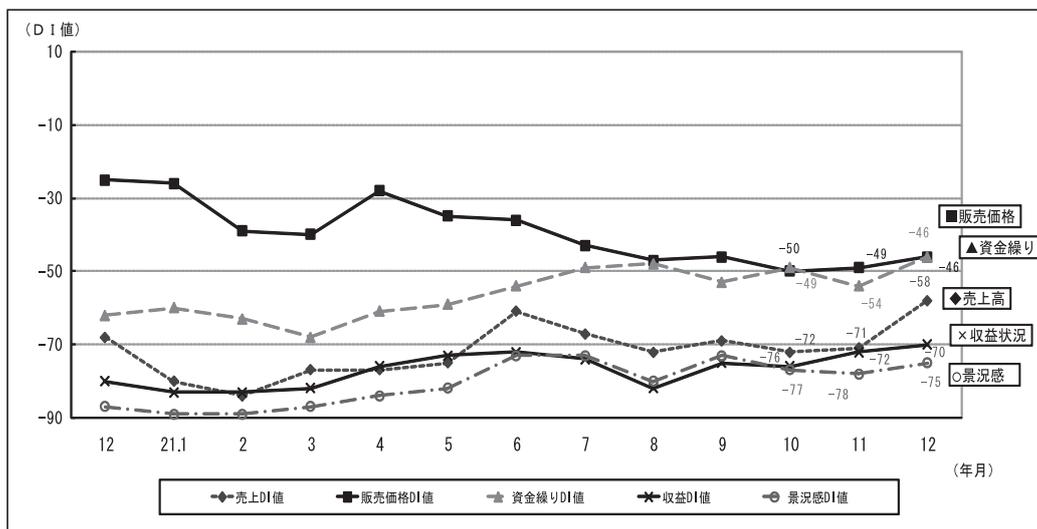
収益状況が悪化した業種は61業種あり、特に繊維・同製品、窯業・土石、鉄鋼・金属、一般機械、小売業、商店街、建設業、運輸業に悪化が多い。

**資金繰りの動向**は、前年同月比で好転5、悪化51でDI値はマイナス46となり、前月のマイナス54に対し、8ポイントの改善となっている。

資金繰りが好転した業種は、5業種となっており、素材生産、機械・工具販売、自動車タイヤ整備、広告美術、産直住宅(東白川地区)である。

資金繰りが悪化した業種は42業種あり、特に窯業・土石、商店街、運輸業に悪化が多い。

## 売上高、販売価格、収益動向、資金繰り、景況動向 DI 値の推移(前年同月比)



# 県内中小企業主要業種の景気動向

(12月末調査)

表の見方

好転  $+30 \leq DI$      
 やや好転  $+10 \leq DI < +30$      
 変わらず  $-10 < DI < +10$      
 やや悪化  $-30 < DI \leq -10$      
 悪化  $DI \leq -30$

○：増加、上昇、好転、拡大  
 △：不変  
 ▲：減少、下降、悪化、縮小

製造業	売上高	販売価格	収益状況	資金繰り	雇用人員	景況感
DI値						

非製造業	売上高	販売価格	収益状況	資金繰り	雇用人員	景況感
DI値						

区分	業種	調査項目					
		売上高	販売価格	収益状況	資金繰り	雇用人員	景況感
食料品	牛乳・乳製品	▲	○	▲	△	△	▲
	豆腐	△	△	△	△	△	△
	食肉(国産)	○	▲	△	△	▲	▲
	菓子	▲	△	▲	△	△	▲
	米	△	△	△	△	△	△
繊維・同製品	寒天	△	△	△	△	△	△
	製麺	△	△	△	△	△	△
	ニット工業物	▲	△	▲	△	▲	▲
	毛織物	▲	△	▲	▲	▲	▲
	合成繊維織物	▲	△	▲	▲	▲	▲
木材・木製品	メンズアパレル	▲	▲	△	△	△	▲
	婦人・子供服	▲	▲	▲	△	△	▲
	縫製(既製服)	▲	▲	▲	▲	▲	▲
	製材	▲	△	△	△	△	▲
	銘木	△	▲	▲	△	△	▲
紙紙加工品	製材・素材生産	▲	△	▲	○	△	▲
	家具(飛騨地区)	▲	△	▲	△	△	▲
	東濃ひのき	○	△	△	△	△	△
	家庭紙	○	△	△	△	△	△
	特殊紙	▲	▲	▲	▲	△	▲
印刷	紙加工品	▲	▲	▲	▲	▲	▲
	印刷	▲	▲	▲	▲	▲	▲
	印刷	▲	▲	▲	▲	▲	▲
	印刷	▲	▲	▲	▲	▲	▲
	印刷	▲	▲	▲	▲	▲	▲
化学ゴム	プラスチック	△	▲	○	△	△	△
	窯業・土石	▲	△	▲	▲	△	▲
	窯業	▲	△	▲	▲	△	▲
	窯業原料	▲	▲	▲	▲	▲	▲
	窯業	▲	△	▲	▲	▲	▲
鉄鋼・金属	生コンクリート	▲	△	▲	▲	▲	▲
	砂利生産	▲	△	▲	▲	△	▲
	砕石生産	▲	▲	▲	▲	△	▲
	鉄鋼	▲	▲	▲	▲	▲	▲
	金属	▲	▲	▲	▲	▲	▲
一般機械	刃物等金属製品(輸出)	▲	▲	▲	▲	△	▲
	刃物等金属製品(内需)	▲	△	▲	△	△	▲
	メッキ	▲	△	▲	△	▲	▲
	県金属工業団地	△	▲	▲	▲	▲	△
	可児工業団地	▲	▲	▲	△	▲	▲
電気機器	金型	▲	▲	▲	▲	▲	▲
	電気機械器具	—	—	—	—	—	—
	輸送用機器	△	△	▲	▲	▲	▲
	各種物産品(観光)	▲	△	▲	△	△	▲
	各種物産品(ギフト)	▲	△	▲	△	▲	▲

区分	業種	調査項目					
		売上高	販売価格	収益状況	資金繰り	雇用人員	景況感
卸売業	医薬品卸	○	△	△	△	△	△
	電設資材卸	▲	▲	▲	▲	▲	▲
	陶磁器産地卸	▲	△	▲	▲	▲	▲
	機械・工具販売	○	△	△	○	△	○
	小売業	青果販売	△	▲	▲	△	△
小売業	水産物商業	▲	▲	▲	▲	△	▲
	家電機器販売	△	▲	▲	▲	△	▲
	メガネ販売	▲	▲	▲	▲	△	▲
	中古自動車販売	▲	▲	▲	▲	▲	▲
	石油製品販売	△	△	▲	△	△	▲
商店街	共同店舗(東濃)	△	▲	△	△	○	▲
	共同店舗(飛騨)	▲	▲	▲	▲	▲	▲
	生花販売	▲	△	▲	▲	△	▲
	岐阜市商店街	▲	▲	▲	△	△	▲
	大垣市商店街	▲	▲	▲	▲	△	▲
サービス	多治見市商店街	▲	▲	▲	▲	△	▲
	恵那市商店街	▲	▲	▲	▲	△	▲
	高山市商店街	▲	▲	▲	▲	△	▲
	自動車車体整備	△	△	△	△	△	▲
	自動車タイヤ整備	○	△	○	○	△	△
ビジネス	長良川畔旅館	△	▲	▲	△	△	▲
	下呂温泉旅館	▲	△	▲	△	△	▲
	高山旅館	▲	▲	▲	▲	△	▲
	クリーニング	▲	△	▲	▲	△	▲
	広告美術	○	△	○	○	△	○
建設	情報サービス業	△	△	△	△	△	△
	映像制作	△	△	△	▲	△	△
	飲食業	▲	▲	▲	△	△	▲
	ビルメンテナンス	▲	▲	▲	▲	▲	▲
	理容・美容業	▲	△	△	△	△	△
運輸業	土木(岐阜地区)	▲	△	▲	▲	▲	▲
	土木(飛騨地区)	▲	▲	▲	▲	▲	▲
	土木(東濃地区)	△	▲	△	△	△	△
	建築設計	▲	▲	▲	▲	▲	▲
	鉄構造物	▲	▲	▲	▲	▲	▲
運輸業	電気工事	▲	△	▲	▲	▲	▲
	管設備工事	▲	▲	▲	△	▲	▲
	建築板金	▲	▲	▲	▲	▲	▲
	木製建具	▲	▲	▲	▲	△	△
	産直住宅(東白川地区)	○	△	△	○	△	△
運輸業	軽運送(県域)	▲	▲	▲	▲	▲	▲
	軽運送	▲	▲	▲	▲	▲	▲

※中小企業団体情報連絡員85名(うち84名分の集計)を対象にまとめたものです。

# 全国の先進組合事例を紹介!!

## 松江八束清掃協同組合

### 環境経営の先導的実践で職場の活性化を図る

#### 【背景と目的】

当組合の事業の大半は松江市を中心とした、行政からの「一般廃棄物収集運搬業務」の受託事業である。受託の性格上、ともすれば受動的となり、事業展開も単調で積極性に欠けるものになりがちである。また、ISO14001を認証登録している松江市のステークホルダーとして、環境配慮の責務がある。更に当事業においても近年は、下水道整備の進展やごみの漸減傾向等の影響で、将来における事業変移への不安も懸念される。

かかる状況にあって、組合の積極性を確保して将来の事業変移に備え、かつ目下の課題である環境保全や環境型社会の形成に寄与するために何をすべきかを模索していたところ、エコアクション21（EA21）活動との出会いがあった。

本活動を通じて、能動的な事業体質と高いモチベーションを持つ従業員の醸成を目指している。

#### 【事業・活動の内容】

平成18年10月、協同組合としては中国地方で初めて、EA21を認証登録し、傘下組合事業者3社も同時に登録した。認証に際しては中央会からの強い勧めと支援、代表理事の「時代の風を受け入れよ」との思い、事務局幹部の推進に向けた熱意、組合各企業の前向きな賛同を得て、研修や半年に亘るコンサルティングを受けた結果の快挙であった。

認証登録を機に、組合及び組合員企業において、①省エネルギー、②廃棄物削減、③環境配慮、④節水等の環境保全活動を推進し、環境重視経営の先導的役割を果たしている。

また、積極的な地域ボランティアへの参加や、地域研修会

への参加等によるCSR達成にも努め、従業員の個々のモラルも格段に向上してきている。

#### 【成果】

EA21認証登録など、一連の活動により、対外的には環境経営に対する先導的な組合としてのイメージアップ及び受注力の向上と、先進エクセレント事業体としての範を示すこととなり、他方では、組合内部の連帯感、結束を一段と高めることができた。

また、環境保全活動から得られる、業務効率アップや経費削減等の直接成果に加えて従業員のなかに新たな向上心や意欲、自己実現欲求の高まりが生まれ、これらが相乗的にはたらい、業務全般における改善活動や職場の士気高揚等、企業風土がプラスにスパイラルしつつある。

活動を地道に継続していくことにより、今後の事業改革等に向けた大きな力になる可能性が期待できる。

ポイント	協同組合として中国地方で初のエコアクション21認証を機に、環境経営の先導的組合として、環境社会に能動的に貢献すると同時に、従業員のモチベーション向上などを図る		
住所	島根県松江市西持田町1292-1		
URL	<a href="http://www.ea21.jp/list/pdf/0001095.pdf">http://www.ea21.jp/list/pdf/0001095.pdf</a>		
電話	0852-21-9919	FAX	0852-25-6667
組合員	7人	設立	昭和59年3月

## 香川県製粉製麺協同組合

### 年明けうどんで、さぬきうどん・素麺の振興に寄与

#### 【背景と目的】

「世界面フェスタ2008 in さぬき」は、「自然と人々の知恵の結晶“麺”を通して世界の親善と文化の交流を図る」ことを目的としたイベントである。このイベントへの参加を契機として、当組合とさぬきうどん協同組合、小豆島手延素麺協同組合との間に親交ができ、さぬきうどん・素麺の振興のために協同して何かできることはないかと考えはじめた。

そして、会則等を整備した後、平成20年7月14日、「さぬきうどん振興協議会」が設立された。同協議会は、さぬきうどん協同組合、小豆島手延素麺協同組合の各理事長を含め8人で構成されており、基本的に2カ月に1回、定例会を開催する。定例会では、香川県内のさぬきうどん並びに素麺事業に関する諸問題を協議し、かつ会員相互の交流、情報交換を行う。

#### 【事業・活動の内容】

当面の活動目標を「年明けうどんの提唱とその定着」に置いている。「年明けうどん」とは、「元旦から1月15日までに食べるうどん」で、カマボコや梅干しなど、紅いトッピングを行い、紅白の縁起物として食べるうどんのことを指す。同協議会では、その普及を図るための諸活動を今後次々と展開していく予定である。

これまでの活動としては、現在さぬきうどん業界が悩まされている商標問題が「年明けうどん」についても起こらないよう商標登録の申請を平成20年8月6日に行った。続いて、

年明けうどんのPRのための記者発表を再三行い、これによって、知名度は現在大いに高まりつつある。

#### 【成果】

各構成員は、同等の立場で同協議会に参加しており、それぞれの所属組織への利益誘導等は考えていない。このスタンスが、今後も継続して維持される限り、同協議会の活動は、順調にさぬきうどん業界に受け入れられていくであろう。傘下の組合員に対しては、平成20年9月22日、同協議会について周知する機会を得たが、概ね良好な反応であった。

なお、今後の同協議会の活動としては、「さぬきうどん資料館」の早期開設を目指すことも視野に入れている。

ポイント	「世界面フェスタ2008 in さぬき」への参加を契機とし、県内2組合と協同して「さぬきうどん振興協議会」を設立。当面の活動目標は「年明けうどんの提唱とその定着」		
住所	香川県高松市西内町1-16		
URL	<a href="http://www.chuokai-kagawa.or.jp/~seifun">http://www.chuokai-kagawa.or.jp/~seifun</a>		
電話	087-822-9326	FAX	087-811-7380
組合員	13人	設立	昭和24年11月



# 新年の目標は立てましたか？

～限りある真い（TRY）を有効に～

NPO法人起業家支援ネット・中小企業診断士 眞鍋 貴子

明けましておめでとうございます！大雪が降る中でのお正月はいかがお過ごしでしたでしょうか。

2009年は世界的な経済不況により、大企業を中心に設備と雇用と在庫の調整が行われました。そして、私たち中小企業は、大企業から取引の大幅削減もしくは一時停止を受け、経営に多大な影響を受けました。しかし、私たち中小企業はそんな経済環境の中でも果敢にチャレンジを続け、次の一手を出して勝ち残ってきたのではないのでしょうか。

2010年はそんな時代にふさわしい「トライ」（真＝TRY）を象徴する一年として、引き続き新しいチャレンジを続けていきたいものですね！

さて、あなたは新年の抱負は立てましたか？当たり前のように来る「新年」ですが、経営者としての「新年」は人生のうちに一体何回巡ってくるのでしょうか。あなたは、計算してみたことはありますか？

もし、あなたが50歳の場合、65歳まで代表を勤めるとすると、残りの「新年」は、ハッピーリタイア希望年齢の65歳から現在の年齢の50歳を差し引いて、残り15歳。つまり15回分新年が巡ってきて、経営者としての新年の抱負を立てることになります。少し手を止めて、一度計算してみてください。どんな風に感じましたか？結構多いと感じましたか？それとも、意外と少ないなあと感じましたか？

以前、農家の方からこんなお話を聞きました。「農作物が採れるのは年1回。新しい農作物を作ろうとしても、チャレンジできるのは毎年1回しかない。たとえ30歳から始めて60歳まで続けたとしても、たった30回分のチャレンジしかできない。1回1回のチャレンジが本当に貴重でかけがえのないものだ。」と。

会社においても同じことが言えるのではないのでしょうか。メーカーの場合、新商品を開発できるのは早くても半年、じっくり時間をかけると2～3年かかります。小売業の場合、アパレル関係では春夏秋冬の4つの季節に販売促進をします。サービス業の場合、例えばク

リーニング業は、衣替えの季節（春から夏、夏から秋、冬から春）があるように、需要の山と谷が1年の間で必ず巡ってきます。

このように新しい商品やサービスを始める場合は、自社の都合で販売時期を決めることは難しく、消費者が購入したくなる季節、必要となる時期に合わせた販売促進しかできません。従って、チャレンジの機会実は非常に限られているのです。このように考えると、一年の中であなたの会社ではいったい何回新しいことにチャレンジできるのでしょうか。

次の公式で考えると、あなたの経営者人生におけるチャレンジ回数がわかります。

経営者人生の中でのチャレンジ可能回数 =	
$\left( \begin{array}{l} \text{ハッピー} \\ \text{リタイア} - \text{現在年齢} \\ \text{年齢} \end{array} \right) \times$	1年間の新商品 開発回数もしくは 販促企画回数

上記の50歳社長で65歳にハッピーリタイアを予定しており、業種はメーカー、1年間に2回全国で開かれる展示会に向けて新商品開発を行うと考えると、

チャレンジ可能回数 = (65歳 - 50歳) × 2回 = 30回  
つまり、この場合は経営者人生において30回分チャレンジの機会があるのです。この回数を多いと考えるか、少ないと考えるかは貴方の仕事に対する夢や志、情熱次第です。

新年の抱負を立てるとき、人生を通じて何を成し遂げたいのか、どんな会社を目指したいのか、この機会にじっくりと考えてみるのも良いと思います。それが好況・不況にかかわらず、あなたを支え続ける会社の理念、ビジョンとなるはずですよ。

新年の目標は、有限だからこそ即実行！今年も一緒に頑張りましょう！！

# 事務局だよ!

## 販売力強化を支援します!

中央会では、マーケティング力、プレゼン力、ネット販売力など、様々な角度から販売力を強化するための知識を学ぶセミナーを開催しています。

- 2月1日  
「商品売る手段」
- 2月8日  
「専門家による商品目利き会  
(個別相談)」
- 2月15日  
「成功するネットビジネスモデル  
の構築」&「ネット販売に関する  
何でも相談会(個別相談)」

会場は県民ふれあい会館、時間は13:30からです。各回の詳細は、情報チーム又は本会ホームページをご覧ください。

## 井村屋製菓(株)・浅田社長によるセミナーのご案内

中央会は、井村屋製菓(株)の浅田剛夫社長を招き、「技術力強化セミナー」を開催します。同社は、「肉まん」「あずきバー」をはじめ、数多くのヒット商品を世に送り出し、アイデアを駆使して誰にでも親しまれる商品(製品)づくり行っています。

製造業の方から、卸・小売業の皆様にとっても役立つ情報が満載です。詳しくは広報チームまでお問い合わせ下さい。

【日時】平成22年2月17日(水) 13:30~15:30

【場所】グランヴェール岐山 3階「鳳凰」

## 中小企業のための政治・経済セミナーのご案内

中央会は、テレビや雑誌などで活躍されている経済ジャーナリストの須田慎一郎氏を招き、「今起こっていること、これから起こること」をテーマにセミナーを開催します。

須田氏は、政財界をはじめ多岐にわたり豊富な人脈を持っており、中小企業者の皆様にとっても重要となる今後の世界の動きや経済の見通しなどを講演いただきます。

お問い合わせは、情報チームまで。

【日時】平成22年2月22日(月) 14:00~15:30

【場所】岐阜都ホテル 2階「漣」

## 明けましておめでとうございます

昨年は、本会の事業運営に多大なご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。本年も何卒よろしくお願い申し上げます。

中央会では、会員組合の皆様方の取り組みや活動など、より多くの情報を発信したいと考えています。そこで、本紙に掲載可能な組合活動などがございましたら、広報チームまで情報提供をお願いします。

また、本紙「年賀広告」に多数のご協賛を頂き、誠にありがとうございました。今後ともご協力頂きますとともに、組合員の皆様への情報提供などに本紙をご活用頂きますようお願い致します。

### 中央会の人事異動

中央会では1月1日付けで次のとおり人事異動を行いました。

▽後藤 諭  
(東濃支所サブリーダー)



今年も「花もち」を  
いただきました!

高山市公設市場買受人協同組合(林利夫理事長)から、飛騨の正月を彩る「花もち」を寄贈していただきました。

来会者の皆様に観ていただくため、本会事務所内に展示しております。林理事長をはじめ、組合役職員、組合員の皆様に感謝申し上げます。

## 中央会 日誌



### <12月21日~31日>

22日 岐阜県ふるさと雇用再生特別基金事業協議会(シンクタンク庁舎)

24日 ぎふ清流国体 募金・企業協賛推進委員会(ふれあい会館)

### <1月1日~20日>

13日 ものづくり岐阜テクノフェア2009幹事会(テクノプラザ)

18日 ふるさと経済再生有識者会議(県庁)

全国豊かな海づくり大会岐阜県実行委員会・総会(岐阜グランドホテル)

# 商工中金の「マイハーベスト」は、 堅実な「あなた」を応援します。



## 個人向け新型定期預金「マイハーベスト」安心のポイント

資金計画に合わせて  
選べる期間

通常の預金よりも  
有利な金利設定\*

元本保証・預金保険対象で  
安全・確実

\* 野金庫内の商品と比較した場合。

どなたでもお預けいただける、安全・確実な定期預金をご用意しています。

個人向け新型定期預金

# マイハーベスト

岐阜支店

〒500-8828 岐阜市若宮町9-16 ☎058(263)9191



人を思う。未来を思う。

商工中金

この広報紙は岐阜県からの助成を受けています。